

『白岡市災害廃棄物処理計画』を策定しました

東日本大震災をはじめとする大規模災害では、被害が広範囲に及んだことで大量の廃棄物が発生し、これらを早期に処理することが復旧・復興における重要課題となりました。

そのため、国では、「災害廃棄物対策指針」及び「大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針」を策定し、その中で、災害時の廃棄物の処理を迅速に進めるために、事前の対策を可能な限り講じておくことの重要性が示されました。

市では、「白岡市地域防災計画」と整合性を図りながら、適正かつ円滑な災害廃棄物の処理を実施するために、『白岡市災害廃棄物処理計画』を策定しました。

この計画では、「埼玉県災害廃棄物処理指針」などにおいて、最も大きな被害が想定されている関東平野北西縁断層帯地震及び荒川や利根川の洪水氾濫を対象として、災害廃棄物の発生量を推計しています。

実際に災害が発生した場合には、被災状況に応じた災害廃棄物の発生量を推計のうえ、仮置場を決定し、開設します。

災害廃棄物とは…

被災した家や建物などから発生する木くず、コンクリート、金属くず、畳、布団、家具、家電など

仮置場とは…

災害発生時に、被災した建物等から撤去しがれき等を一時保管したり、粗選別等を行う場所です。

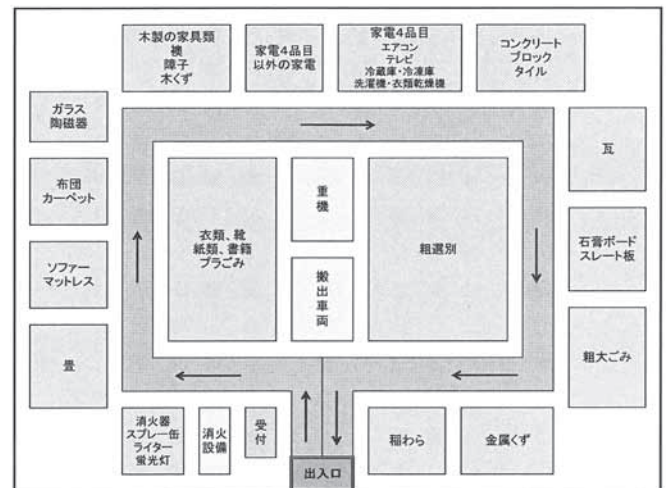
災害発生時は、廃棄物が大量に発生し、処理が追いつきません。

住宅の前の道路脇や通常のごみ集積所などに出すと、消防車・救急車などの緊急車両やごみ収集車などの通行の妨げとなってしまいます。

災害発生後、速やかに仮置場を開設しますので、決められた仮置場に災害廃棄物を排出してください。

なお、廃棄物の処理に係る時間及び費用の増加、腐敗性廃棄物による悪臭や害虫の発生、ガスボンベなどによる火災の危険などが考えられるため、災害廃棄物は分別して排出してください。

仮置場のレイアウト (案)



問合せ 環境課環境衛生担当 内線282・283



ペット防災について



災害が発生した場合、あなたのたいせつなペットも被災します。

災害が原因でペットと離れてしまったり、避難場所でのトラブルを避けたりするために、日頃から次のことを心がけてください。

- ① 避難場所でのトラブル防止のために、普段から最低限のしつけをしておきましょう。
- ② 自分のペットがすぐに見つかるように、首輪に名札・鑑札・狂犬病予防注射済票などを着けておきましょう。
- ③ 人に慣れさせておきましょう。
- ④ いっしょに避難しやすいように、首輪・引き綱(リード)を嫌がらずに着ける習慣をつけさせておきましょう。
- ⑤ すぐに連れて逃げられるように、檻(ケージ)やキャリーバッグを用意し、入れることに慣れさせておきましょう。
- ⑥ 災害発生時には感染症にかかる危険性が高まるため、ワクチンの接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。
- ⑦ ペットの写真や記録(健康や病気の記録など)を用意しておきましょう。
- ⑧ 緊急時の餌(長期保存できるもの)や飲み物、薬などを用意しておきましょう。
- ⑨ 災害発生時のペットの取り扱いについて、ご近所とコミュニケーションをとっておきましょう。

問合せ 環境課環境衛生担当 内線282・283